






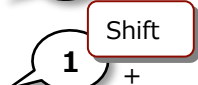

～電気部材変換編～

目次

DXF図面のオブジェクトをCADEWA部材に変換してみましょう

1. 開く
2. 名前を付けて保存
3. 部材変換
4. 上書き保存

マウスの使い方

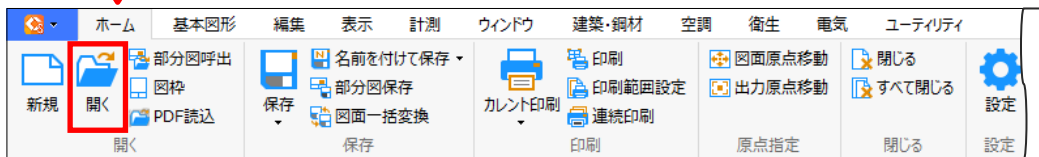
- | | |
|---|---------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック (左クリック) します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | … [Ctrl] キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | … [Shift] キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
| 
右ドラッグマウス移動 | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |

1.

図面を開きましょう

Operation

開く



使用する図面は
Smart_50_E06_電気部材
変換開始.dwg

① 図面を選択します

② 開く

③ 「三次元オブジェクトを読み込む」、「ブロックをグループに分解して読み込む」をOFFにします

④ 原点の位置を「図面原点を維持（無変換）」に設定します

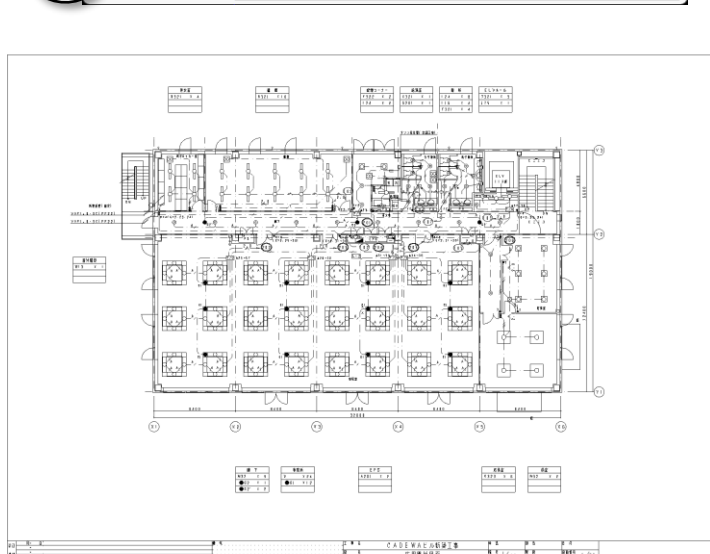
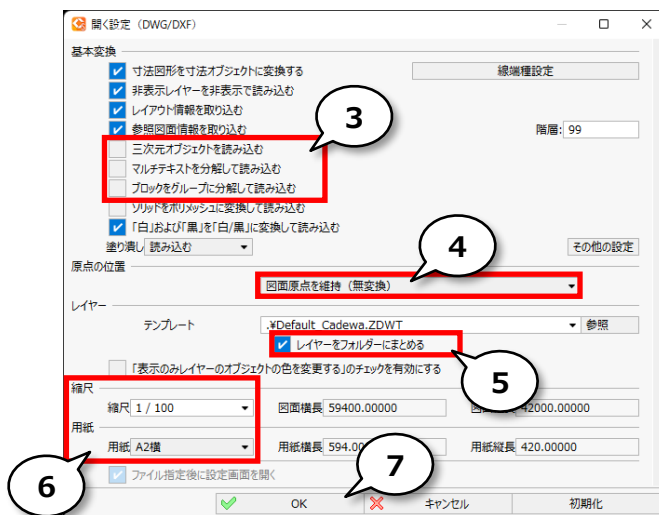
⑤ 「レイヤーをフォルダーにまとめる」をONにします

⑥ 縮尺と用紙を変更します

*縮尺：1/100

*用紙：A2横

⑦ OK

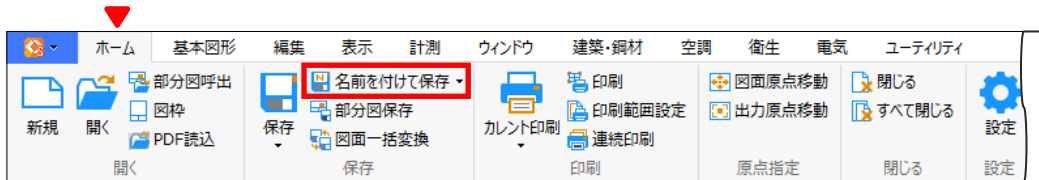


2.

図面を保存しましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_50_E06_電気部材変換開始.ZDW

- ② 保存



3.

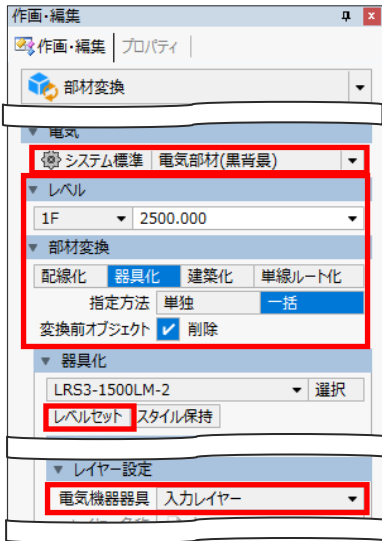
汎用線を電気部材のオブジェクトへ変換しましょう

Operation

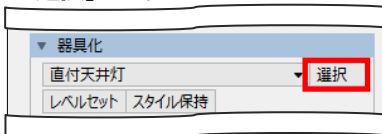
部材変換



- ① 器具の部材変換を設定します
 *プリセット：電気部材（黒背景）
 *レベル：2500 *変換：器具化
 *指定方法：一括
 *変換前オブジェクト：「削除」ON
 *「レベルセット」OFF
 *レイヤー設定：電気機器器具「入カレイヤー」



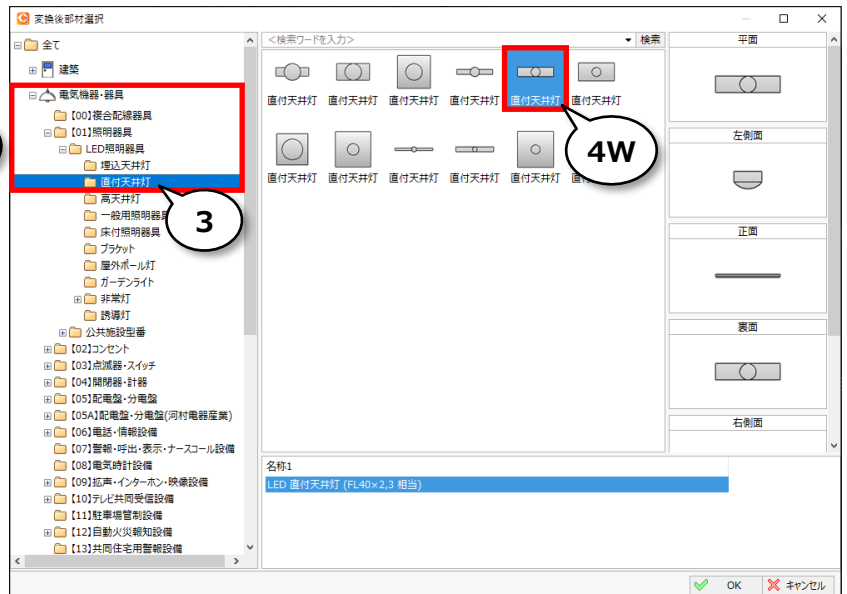
- ② 変換後の器具を設定します
 *「選択」をクリック



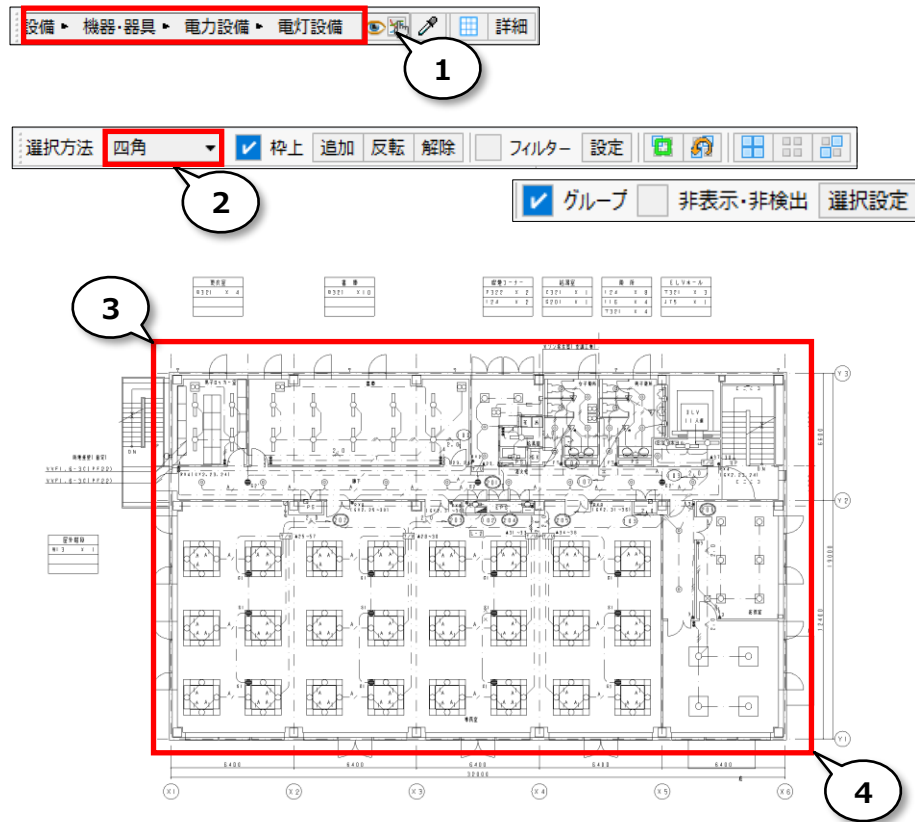
- ③ 器具を選択します
 *「電気機器・器具」-「[01]照明器具」-「LED照明器具」-「直付天井灯」

- ④ W「直付天井灯」を選択します

- ⑤ 変換後の配置角度やスタイル等を設定します
 *角度：「最長線分優先」ON

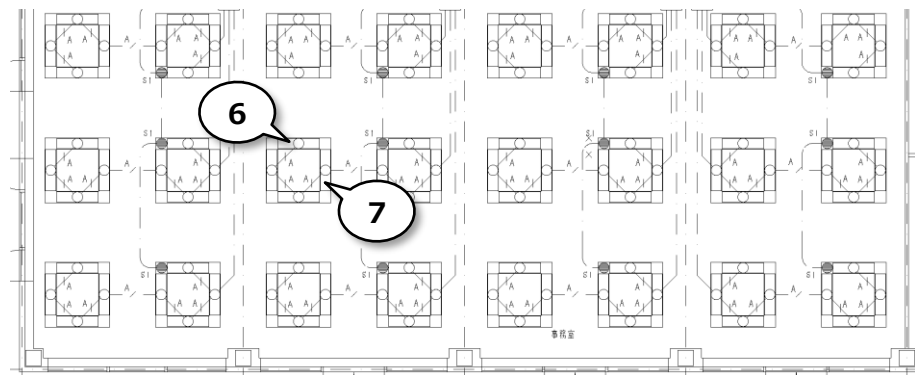


- ① レイヤーを設定します
*「電気設備」-「機器・器具」-
「電力設備」-「電灯設備」
- ② 選択方法を「四角」に変更します
- ③ 変換するオブジェクトを選択してください
- ④ 範囲選択の終点を指示してください
- ⑤ 右 選択完了
- ⑥ グループを指示してください
*横向き器具を指示
- ⑦ グループを指示してください
*縦向き器具を指示



5右 → 右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

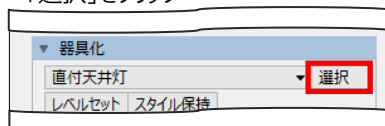
右ドラッグマウス移動



プルボックスへ変換します。

- ① 変換後の器具を設定します

*「選択」をクリック



1

- ② 器具を選択します

*「電気機器・器具」-「【29】プルボックス」

- ③ W 名称1を選択します

*プルボックス (さび止め・平ふた
300x300x300)

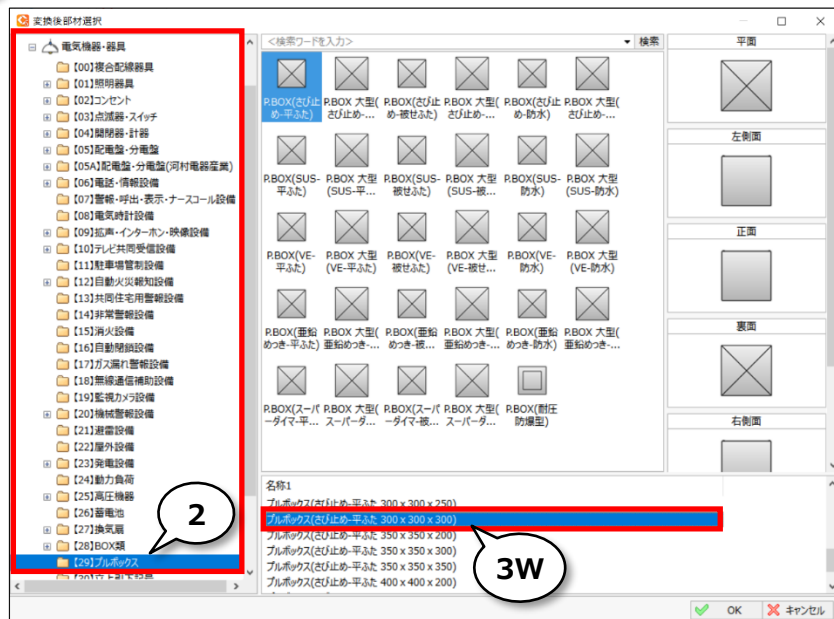
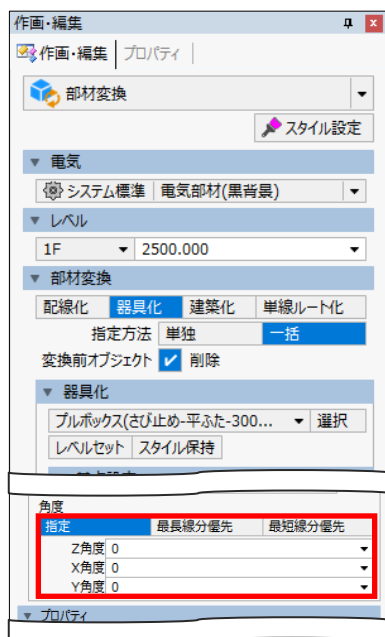
- ④ 変換後のレベル、配置角度を設定します

*角度: 「指定」ON

*Z角度: 0

*X角度: 0

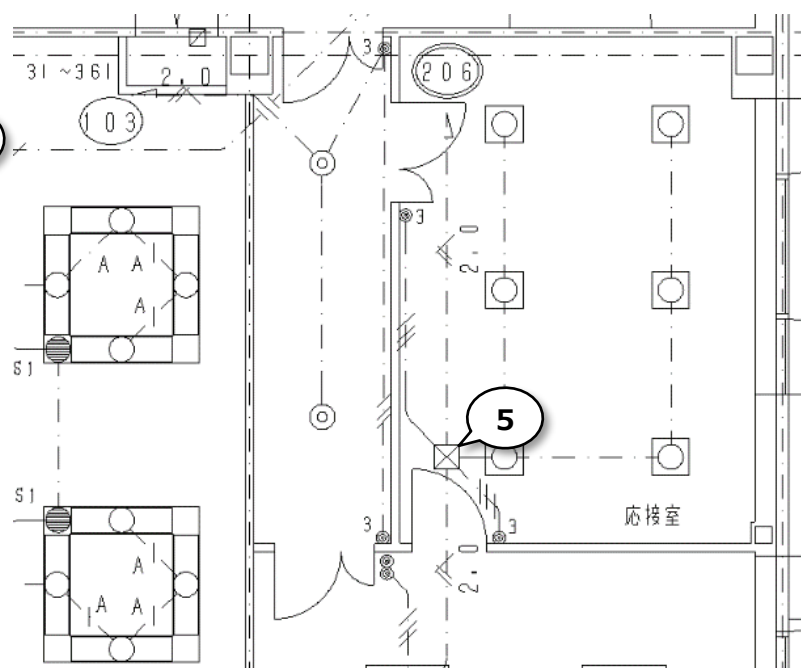
*Y角度: 0



3W

- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください

- ⑥ 右 選択完了



6右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

器具化について

- 変換対象

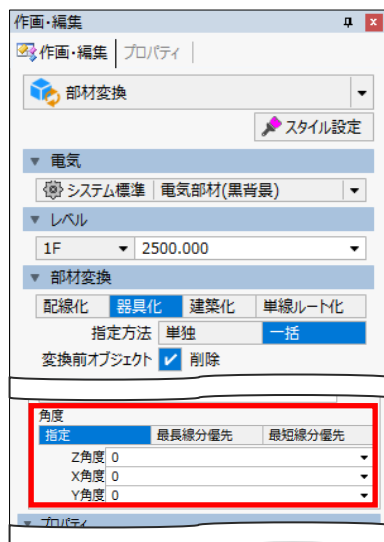
器具化（単独）の変換対象：点、線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

器具化（一括）の変換対象：円、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

（※器具化の対象となる拡張オブジェクトは、建築を除くCADEWA Smartで作画した機器器具や配線・配管・ダクトなどのルート部材、表、雲、3D図形、ブロックなどが該当します。）

「一括」で意図した変換ができない場合は「単独」での変換をお試しください。

- 角度



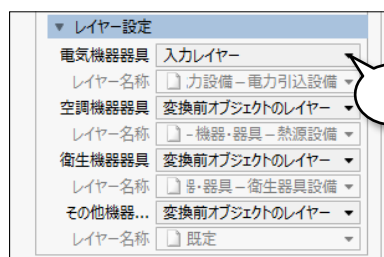
「指定」ONの場合、Z角度、X角度、Y角度に入力した角度で配置します。

「最長線分優先」ONの場合、変換対象要素の最長線分の角度を優先して配置します。

「最短線分優先」ONの場合、変換対象要素の最短線分の角度を優先して配置します。

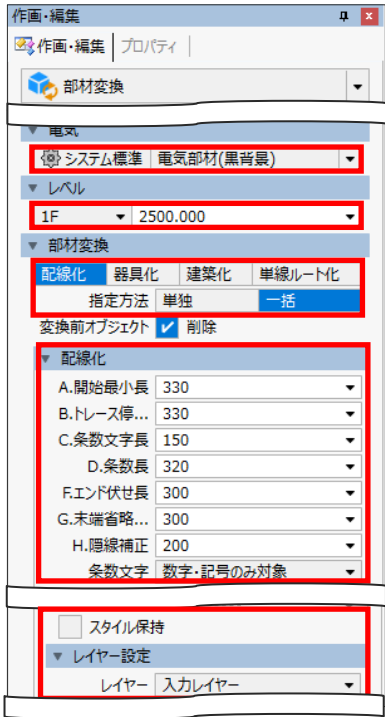
- 変換後レイヤー

変換した器具は「レイヤー設定」で指定されたレイヤーに入ります。



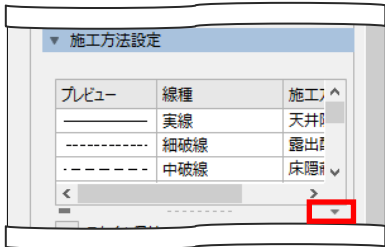
✓ 入力レイヤー
変換前オブジェクトのレイヤー
指定レイヤー

- ① 配線の部材変換を設定します
 - *プリセット：電気部材（黒背景）
 - *レベル：2500
 - *変換：配線化
 - *指定方法：一括
 - *A.開始最小長：330
 - *B.トレース停止長：330
 - *C.条数文字長：150
 - *D.条数長：320
 - *F.エンド伏せ長：300
 - *G.末端省略記号長：300
 - *H.隠線補正：200
 - *条数文字：英数字・記号のみ対象
 - *「スタイル保持」OFF
 - *レイヤー設定:レイヤー「入力レイヤー」



1

- ② 施工方法設定を確認します
 - *右下「▼」をクリック

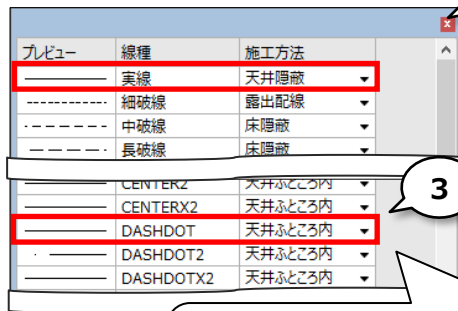


2

- ③ 施工方法を設定します
 - *実線：天井隠蔽
 - *DASHDOT：天井ふところ内

- ④ 閉じる

- ⑤ レイヤーを設定します
 - *「電気設備」－「配管・配線」－「電力設備」－「電灯設備」



4

3

線種ごとに変換後の施工方法を
設定します



5

① 「設定」ボタンをクリックします

② 選択フィルターを設定します
*「スタイル」をON

③ 色設定の「全解除」ボタンをクリックします

④ 色検出を「白/黒」、「6.黄」のみONにします

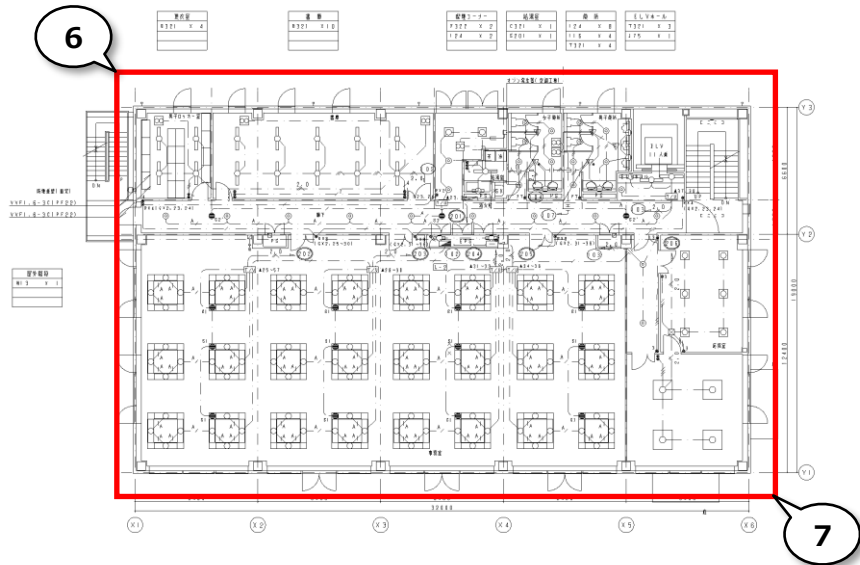
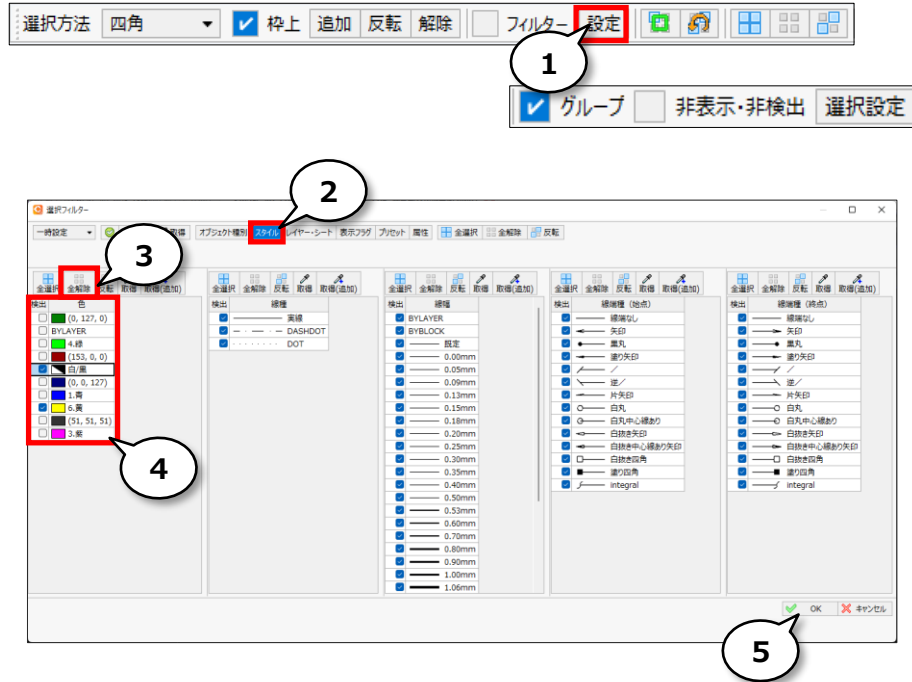
⑤ OK

⑥ 変換するオブジェクトを選択してください

⑦ 範囲選択の終点を指示してください

⑧ 右 選択完了

⑨ 選択フィルターをOFFにします



8右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



配線化について

変換対象

配線の変換対象：線、円弧、楕円弧、ポリライン、スプライン
 配線条数の変換対象：線、円弧、文字、ポリライン、スプライン
 省略記号の変換対象：線、円弧
 エンド伏せの変換対象：線、円弧、楕円弧

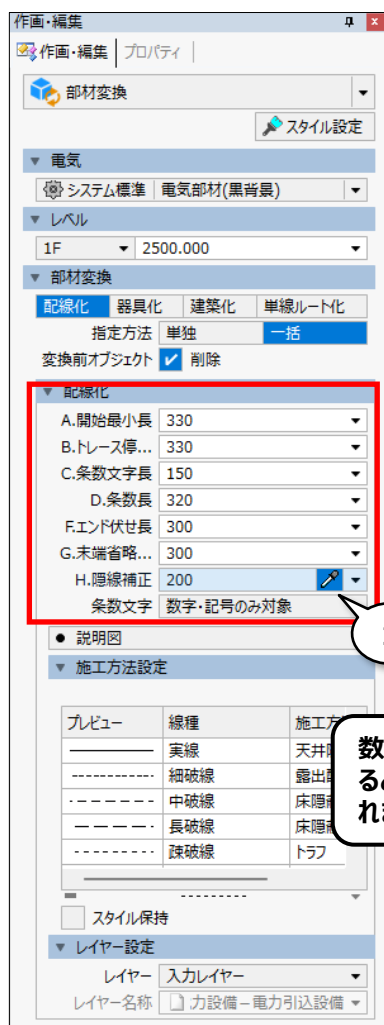
元図がDWGファイルの場合、ブロック要素は配線化対象になりません。
 「分解」コマンドで線や円弧に分解してから配線化を行ってください。

変換後レイヤー

変換した器具は「レイヤー設定」で指定されたレイヤーに入ります。

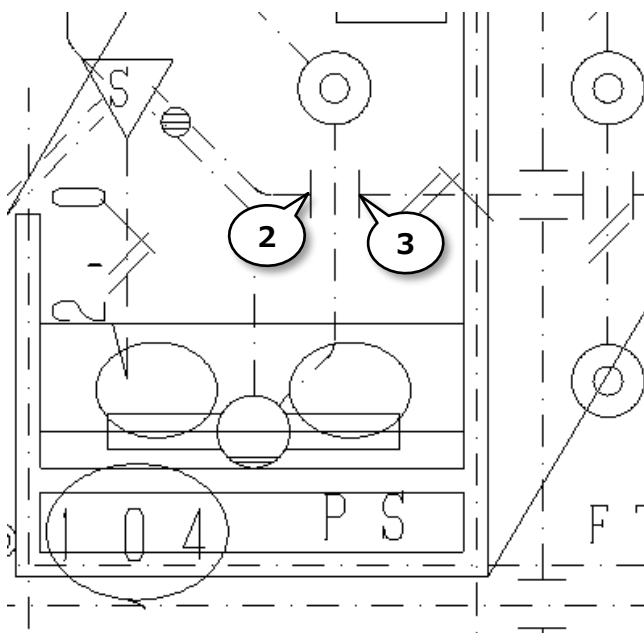
「配線化」設定について

条数化する対象長さや隠線記号化する対象長さなど、配線化する際の各種対象長さを設定します。
 設定にはスポイトが使用できます。



1

数値入力欄にマウスを移動すると、スポイトマークが表示されます。



4

距離 200

距離 x 200

距離 y 0.17

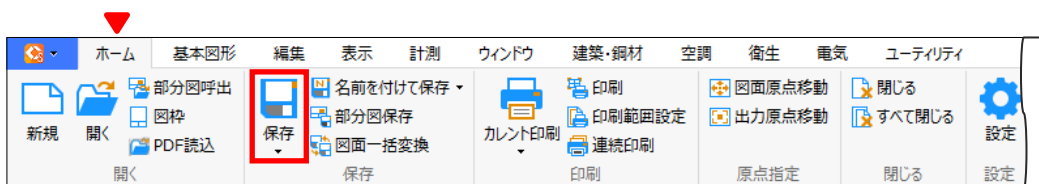
距離 z 0

4.

図面を上書き保存しましょう

Operation

上書き保存



① OK

*既存のファイルを確認

